

日本におけるナガシクイムシ科昆虫による住宅被害*

The cases of Bostrichidae infestation in Japan*

Bong, Lee-Jin**

概要

日本におけるナガシクイムシ科昆虫による住宅の被害調査を全国の害虫駆除会社に対して実施した。その結果、1980年～2014年の34年間で52件の被害例が寄せられた。件数の多くは中部地区および近畿地区からのものであり、ナガシクイムシ科昆虫による被害が日本の北部では少ないことが明らかとなった。52件の内65%はヒラタキクイムシ属種によるものであり、ヒラタキクイムシ (*Lyctus brunneus*) が最も多く23件、次いでアフリカヒラタキクイムシ (*Lyctus africanus*) が11件であった。日本において定着が確認されている他のナガシクイムシ科昆虫、オオナガシクイ (*Heterobostrichus hamatipennis*)、チビタケナガシクイ (*Dinoderus minutus*)、ケプトヒラタキクイムシ (*Minthea rugicollis*)、ケヤキヒラタキクイムシ (*L. sinensis*) およびナラヒラタキクイムシ (*L. linearis*) については、被害例は少なかった。

(本稿の原文は英語で記述されておりますので、欧文誌 Sustainable Humanosphere, No.11 をぜひご参照下さい。)

* 2015年8月2日作成

** 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所学際萌芽研究センター。 E-mail: bong_leejin@rish.kyoto-u.ac.jp